

# 郷土室だより

第 59 号

昭和63年 3月15日

平成 3年 3月31日 改訂版

編集・発行

東京都中央区立 京橋図書館

東京都中央区築地 1-1-1

電話 543-9025

## 銀座裏のつばやき

### — 住民の主張 —

椎葉 一 二

本日の話題は「銀座裏のつばやき」という事でございます。今までの体験談をスライド等にして、主に勝又さんにお話ししてもらおうことにします。

人間一人ではまとまったことは出来ません。二人以上が力を合わせて、いい事をしようという心掛けておれば何でも出来ます。文化の仕事をするために、銀座八丁目町会に文化部を作りました。四十九年からですが、本日出の鳴門の矢向さん、勝又さんと文化活動が始まったわけです。その一号が芝口御門史跡記念碑でございます。それから次々と四つの記念碑を作ることが出来ました。勝又さんは文化遺産の資料集め、矢向さんはいろいろな助言、字句の修正、私は実行のみの役割です。

こんな事をしていこううちに、柳の話が出て来ました。五十九年十二月から銀座の二世柳を育てる事になりました。その事が話題になって、TV・新聞・雑誌で報道されて銀座の二世柳のオジさんという、ニックネームがつきました。その後も育て続けています。この小さい柳の小枝一本が見直されて来たという事は何なんだろうか。都内にあった植木・庭

木もビル建築のため、何もかも切り捨てられる時代、コンクリートの日本になって植物を育てるといふ気持ちの人が少なくなったからではないでしょうか。柳一本がこんななままでさわがれるという事は、昔、銀座の柳があまりにも有名だったからだと思います。

また、この小さな柳が、何か世間に役立たないだろうかと思いたち、まず前区長の横関さんに相談して、中央区内の学校、公園・区道等に植えさせてもらいました。今植えてありますところは二十ヶ所近くで、いずれも三〜五層に育っております。

銀座裏のつばやき―表も裏も横丁も一緒になうが繁盛するようがなければならないと思います。若い人に来てもらいたい、品のいい銀座を保ち続けていきたい。初めの銀座を築いてくれた人に感謝し、また世界の銀座といひますのでそれらしくしなければなら

りません。

私が上京した時は大震災後で方々の水道管から水が噴き出していました。新橋・露月町等テント張りでした。今出来上がっている銀座に出て来て、あこがれのところで店を出される方は幸せです。しかし成功するとは限りません。高い権利金を払っていても長持ちしない店もあります。それなら生き残るには新しいアイデア、そして競争です。私ら九州の片田舎から出て来て、



椎葉氏(左がわ) 勝又氏(右がわ)

学問もない金もない、人並みになろうと上向き、背のびで今日まできました。今、人さまから見ればおかしかったと思います。

中央区では矢田区長さんが街づくり特に力を入れておられます。計画を實現してもらいたい、それには私共も微力ですが何かお役に立ちたいと考え続けております。

### 勝 又 康 雄

私のような浅学、非才な微力者に「東京を語る会」と云うような大きな場で然も一時間半も地域（銀座）のお話しをする機会が与えられました事は大変過分なお仕事を頂戴したもので、いささか緊張致しております。

十数年も前のこと、町内で「芝口御門」の史料が必要となり、銀座通り連合会の石丸事務局長さんから「中央区史では日本一詳しい先生」と御紹介されたのが当資料室の安藤菊二先生でした。以来地域の歴史・風俗資料の必要ある時は必ず先生共々当資料室の皆さまが私共の文化活動に欠かせない貴重な史料を見つけて下さったり又重要な人材を御紹介下さったり、地味なお仕事の中で唯黙々と御尽力なされる実践

には唯頭が下る許りで、私共のよりどころと致して参りました。

例えば、近年「金春マーチ」（銀座で大正三年、初めて開催した外映封切活動写真館、金春館のテーマ音楽として日本人が作曲して有名になった）が再現され、ラジオ、新聞、T・V等、度々大きく取り上げられ、遂に大銀座祭りには毎回演奏されるようになったキッカケは、当資料室に金春マーチをさがし求めて訪ねて来た某ラジオ局のプロデューサーを私共に御紹介下されたからであります。又金春稲荷の詳しい史料も見付けて下さったので、私共が街の古老から語り継がれて来た伝説が史実の裏付けによって、風俗学者の先生迄調査に訪ねて来られるようになりました。

さて、僅かこの十年間に

- (一) 芝口御門跡旧蹟の公認 昭和五二年
- (二) 金春屋敷跡旧蹟の公認 昭和五三年
- (三) 三十間堀跡旧蹟の公認 昭和六一年
- (四) 銀座で唯一の鉄道踏切信号機の保存

昭和六二年一と椎葉御門通り会長や皆さまの絶大なご協力で四箇所も旧蹟の蘇生、顕彰が出来たのですが、さらに、これ等が又もとなつて次々に文化活動が拡がり、資料なども不思議な程集つて参るので

これはひとえに銀座内外の応援の皆さま、地元のお役所、諸団体、学者、芸術家、マスコミの皆さん、学生さんも共々に陰になり日向になつて銀座を愛し、支え、激励して下さいているからに外ありません。

### その一

私淑する某指導者から郷土史を勉強するよう指導され、その気になり始めた頃、自社ビル完成での気のゆるみか昭和五十年腎臓結石で半月も病院に放り込まれてしまいました。お見舞客の中に銀座二丁目の住人で松倉さんという方が、私の郷土史勉強の意中を知つてから、何回となく京橋図書館に通つては銀座に関する本を借りて届けて下さいました。

これが良かった。稼ぐ丈に夢中だった私は入院をチャンスに郷土史が勉強出来たという変毒為業をさせて頂けたのでした。お見舞いにもこんな心のもつた方は始めてで恐れ入っております。

その頃八丁目町会の役員を仰せつけられ、清掃係を担当しておりました折、あることが動機となつて重要なことに気が付かされました。それは一、二丁目と比べ八丁目は記念碑とか文化碑は「柳の碑」しかない事でした。私が

### 銀座の柳年表

明治 2年	町名が、新町替町から銀座になる。
5年4月	大火。銀座の大部分が焼失。（明治政府、東京全体を不燃化都市にする計画。手始めに銀座煉瓦街建設方針決める）
6年10月	銀座通りの煉瓦家屋完成。
12月	銀座通り完成。
7年3月	（車馬道と人道を分離。人道を赤煉瓦で舗装）銀座通り四辻に松、その間に楓、桜を植える。
10年	銀座通りの並木、柳に植え替へはじまる。（松や桜が枯死していったため）
15年11月	銀座二丁目にアーケド灯ともる。
17年	銀座の街路樹は、柳に統一される。
37~38年頃	市内街路樹調査によると（日本橋区）桜38本、柳325本その他63本。
40年3月	【東京市道路誌】街路樹改良案（東京市）改良計画に基き、苗木を栽培。百合木、篠懸木、公孫樹等。
大正 3年	東京駅全成。
9年9月8日	銀座の柳をポプラに替える案に反対運動。京新連

最も尊敬していただきました鈴木源治郎前町会長（前三之部連合会長・前銀座会副会長・中央区議・歯科医）は「八丁目には横浜から汐留に入って来る欧米文化の入口で、東海道から銀座へ入る入口でもある。そして宝永年間に現在の桜田門級の芝、口門、という門があった。今

の人達はこうした重要な史蹟に対して無頓着過ぎる」と声をふるわせて慨嘆されていました。この時私の心の底に「柳の碑を守り、芝口門の碑も建てよう」との決意が産れました。町会の山下事務局（早稲田大学文学部の苦学生）に経費を渡して、芝口門や金春や信楽茶屋などの資料も集めました。鈴木先生からは新橋芸者のこと、当時の風俗、風景、三十間堀と、蜂竜（有名な料亭で先生の実姉が女将）、出雲橋を渡る半玉のボクリとすゞの音、出雲通りの古井戸（良い水が出た）、信楽茶屋と船宿など、椎葉先輩がハラ／＼する程執拗に、老先生から聞き出したものです。金春稲荷の経緯もその一つでその時テープに録音して置いてほんとうに良かったと思っています。そのテープは懇望されて区の教育委員会に寄贈しました。唯遺憾であったことは、私達の息子等に一目先生に合せようとミーティングを準備している中に、お体が弱

られてしまったって果せなかつたことでした。最後まで誇り高き銀座の住民として人のお世話をし通し、目が見えなくなるまで銀座史をつづられ、それが私の手元に遺されて居り目を通す度に胸が熱くなります。

昭和五年八月一日九二才の高齢で天寿を全うされました。芝口門の記念碑を建立しようとして椎葉さん、山田さん（十五番街会長）、矢向さん（鳴門社長）他皆さんと相談中大変喜ばしい情報が飛込んで参りました。原田弘先生の出番です。先生は築地署勤務、日本歴史学会並に日本民族学会々員で「銀座故事物語」等の著者、銀座十五番街誌では永年「銀座に生きた人々」を連載しておられる銀座史では特異な方で、私に「今中央区教育委員会

で銀座の史跡をさがし求めているから紹介して上げよう」との事、最高のチャンス!!早速役所へ馳せ参りました。教育委員会の皆さんが現地を調査に見えました。早速安藤先生ご提供の芝口門原図等の外江戸三十六城門写真集、原田先生から頂いた古地図に示された金春稲荷、鈴木先生のお話、見幹郎や古老との証言一致に加えて文化係長さんが鈴木先生を敬服しておられた事も幸いして、すっかり信用して下さりまして更らにもっとないか、との御尋ねに私の方がたじ、それでは三十

間堀は如何ですか？と芝口門、金春屋敷につづいて三十間堀の資料も提出致しました。何回も何人もの方々が、綿密に調査された結果、先づ芝口門の説明板が椎葉さんの仲達で八丁目十番ビルの角、松川様の地内に昭和五二年建てられました。これには「松川さんの地内なら安心だ」と鈴木源治郎先生が最も喜んで下さいました。更らに椎葉さんは大きな自然石を寄附して下さいましたので、石面に何とか芝口門の絵を入れたいと朝夕願ひ続け、原図から起して江戸三十六城門の写真や大手、坂下、桜田門に足繁し通い自分なりの下手くそな芝口門を描いて見ました。

合会を組織。「橋が生きている街」張するため、銀座の柳、全部引き抜かれる。（丈夫だったもの14本。傷んでいたもの71本、枯れていたもの81本）

10年1月2日 京橋新橋間の車道を拡張する。銀座の柳、全部引き抜かれる。（丈夫だったもの14本。傷んでいたもの71本、枯れていたもの81本）

6月8日 銀座の柳が取払いとなつて、殺風景となつたので銀座連合会幹事20名が、池田市助役を松本様に招き、銀座の街路樹について市の意向をただした。助役は、品川から上野にいたる大通りは、公孫樹の並木とする予定であることを説明。連合会側も、これを諒承した。〔中央区年表大正世相篇〕

12年9月 関東大震災により、全銀座焼失。

12月10日 銀座一、二丁目両町、焼残りの篠懸、柳を取払いヒバに植替え、各町これにならつて名物銀座の並木が復活。〔中央区年表〕

13年3月 新橋、京橋間に公孫樹260本植える。（その後枯死）〔焼失区城路街路樹復旧調書〕

昭和4年 「東京行進曲」流行

5年3月26日 帝都復興祭

7年2月16日 銀座の柳、植樹式。（朝日新聞社が約300本を寄



芝口御門の碑（銀座八一〇一八）



芝口御門模型 (関東サッシ工業 銅屋根事業部 相模屋11代 銅昭作)

そうした時に—高野一郎氏が飄然と私の前に現れました。氏は戦時中私が勤めていました銀座二丁目（西紺屋町）の飯田高島屋（現在の丸紅）に於ける先輩で、最近丸紅日石の社長を引退、これからは若き日の夢だった好きな絵を、そして想い出多き銀座に画材をみつけて描いて行きたいとの事で、何回かお会いして行く中に私の地域に対す

る考え方にえらく共鳴して下さり、或る日突然私の店を画いて届けて下さいました。若き日の高野氏の夢は、画家になる事で、殊に山岡壮八先生に憧れていたのですが御尊父（長崎高商校長）から許されず涙をのんで東大法学部を卒、昭和八年飯田高島屋に入社したいきさつがあり、私との出会いによってう積っていた望みが一度に噴出たようにも受取られる程、銀座を画き始めました。私の下手な芝口門の絵や史料をご覧になると直ちに行動開始されたのには一層驚か

されました。あとで判ったのですが、卒論に鎌倉時代の刑法を、そして鎌倉と日蓮大聖人という夢も昭和五年のものにしておられたので、それからその時の先輩の境涯が芝口門の絵に向わせたともいうかのようにドン進歩し、五六年には銅板に先輩の絵が刻み描がかけられ、其上同氏が得意とする英語で此の史跡が翻訳された区の史跡説明板と並んで英語板も掲げられ、今日も外国人が立ち止って読んで行くようになりました。そし

て遂に此の通り名は銀座御門通りと銘名公認されました。銀座御門通り会も結成されました。又昭和五八年手前共のお客さま、関東サッシ工業様の御好意で技術部長「銅昭」こと土屋昭さん（銅屋根匠十一代目）の手で古史料に忠実に一五〇分の一の銅製模型を椎葉さんと私のと二合作って頂きました。立体化して見てどこから眺めても美しいのに日本建築の高度な文化性に改めて感銘を深く致しました。

その二

次に公認されたのが「金春屋敷跡」で、昭和五十三年でございます。当時銀座の通り名を統一しようとの運動が盛んになり、中心地である五丁目に既に付けられてある通り名を北から南へ八丁目迄通すという事でした。東西は大した問題もなかった様ですが、金春通り方面に来ると大分様子が違うのです。即ち○由緒ある金春の通り名は残す可き、○ウチは金春の名前が好きで五丁目から引越して来た。○包装紙には大正時代から金春通りと印刷してある。○銀座繁栄の歴史に欠かせぬ新橋芸者は金春芸者と称し、金春に誇りをもっていた。○未だに金春ビル・ニューコンパルビル・金春湯（銀

- 21年4月 銀座復興祭
- 24年2月 三十間堀埋め立て
- 26年4月 銀座通り街路灯105本復活
- 29年9月 銀座八丁目に「銀座柳の碑」建碑
- 30年 銀座の街路樹、公孫樹、篠懸、梧桐、唐楓その他1234本。（そのうち柳は、343本）
- 40年3月 柳約200株のうち20株植えかえ。
- 43年2月 銀座通り整備のため、柳撤去。203本を日野にある建設省街路樹苗圃に移植（歩道下に電線、ガス管等を埋設する共同溝を造るため、樹木が根を張れない）
- 51年3月 銀座の柳の由来碑（富士銀行銀座支店横）
- 53年3月 銀座通り連合会のとった会員アンケート。銀座の大通り贈したもの。京橋（新橋、数寄屋橋）銀座の大通りに）
- 3月27日 銀座柳復活祭
- 4月 第一回柳祭り。（昭和37年まで続く）
- 18年4月3日 銀座通街路灯撤去式。銅鉄回収運動に一役買う。東京大空襲、銀座焼ける。（柳をひきぬき、そのあとの地面を畑にして作物を作る。
- 20年

座で唯一の民営銭湯)もあるよ等々。

お客様に便利な新しい通り名の統一の重要さには当然目を向ける可きであります。然し、だからと云って長い目で見た時、果して重要な歴史や文化性を意味する名称をオイソレと削って良いものでしょうか?。聞きかじり、見かじりの銀座史の勉強でしたが、鈴木先生や銀座十五番街、金春通りの老舗先輩、歴史、風俗学者、一層洞察力の強いお客様方のご意見をも伺いまして、どうも金春の方に分がありそうなのです。

こうした時に「金春屋敷跡」史跡公認の説明板が金春通り入口に建てられたのです。ある事がキッカケになって金春通り会の組織を造るようになったのもこの史跡公認説明板がその大きなよりどころとなった事は間違いありません。元来鈴木先生等が、天国さんの東側を「信楽通り会」そして博品館の西側を「金春通り会」と名付けて不二絹製の大きなたれ幕を各々二枚作って通りの出入口に下げ、通り名のPRに努めていました。(天々各一枚築地郷土資料館に寄贈)唯組織作りをキチンとせぬとイザという時、物申せぬ事を痛感し、五十四年七月、改めて「銀座金春通り会」を通りの皆さんの総意で発足させ、皆さんの応援で力不足な私

が初の会長を仰せつかりました。

早いものでもう八年がたちました。其間、ランチャタイム歩行者天国を実施したり、又金春通りの現況を未来に遺して置こうと、名写真家福田勝治先生にお願ひして両商店を撮影したのですが道路巾の割に高層建築になって来たので無理が多く困っておりまして。

或る日前出の高野氏がブラリ一卷の絵巻を持参されました。開いて感嘆させられたのは、写真では表現し兼ねる金春通り両側の商店を克明に、ビル各階にあるバーの名入看板迄書入れた、後世歴史資料ともなり得る絵巻物でした。人も車も青空も、東電の鉄塔もありました。然も京都で表具させたとの事、私達は大喜びで頂戴し、今後代々の会長に手渡す可く大切に保存し、毎年の能楽金春祭りのパンフレットの表紙にはこれを紹介しています。

又兼ねてから遺憾に思いつつなんとかせねばならないと、岡田英夫氏(町会最高齢理事)と小路の補修に悩み続けて来まして、結局改革には  
(一)日中でも暗いのだから明るくすること  
(二)小路の方々には誇りをもってもらうこと  
と考え町会に提案、金春通り会と共同で小路の要所八ヶ所に防犯燈を設置、

金春流宗家金春信高先生の了解を得て「金春小路」と命名、全防犯燈に書き入れ、小路のP・Rもねました。

私達のこうした実践を見聞きしながら好きな絵を描きに茅ヶ崎の自宅から銀座に通う高野先輩は、又しても六号大の油絵を突然持参して来まして。それは昼下りの勝手知ったる金春小路の一風景でした。曰く「君、三月の此の小路に十三分間日が当るのを知ってるかい?この絵がそうだよ」ボソッと一言、その重味一かつて「金春小路に光を当てたい」と洩らした私の願いをもう絵にして下さったのでした。即座に「此の絵は私が頂きます。誰にも渡しません」の私の返事に先輩は満足気に笑っておられました。

此の話は銀座十五番街(七・八丁目)でオリジナルティを持つ職商人の老舗のグループ)の面々に語りましたら、次々と自店を描いて欲しいとの在文が続出して、中には描いてもらったそのお店の絵が売れて追加された例もありました。  
昭和五九年、朝日新聞が取材に来て「都市の肖像」のタイトルで、13分間光の筋が降ったが、やせる一方、銀座の裏庭」と大きく写真入りで報道されました。  
気を良くした先輩は更らに大作銀座

りの並木について

現状(車輪梅)でよい

三二・七%  
柳の復活を望む 六一・一%

53年6月4日 (毎日新聞) 日野市に移植した柳に関する記事。

55年8月27日 (朝日新聞) コラムで「銀座のしだれ柳は信州安曇野の産」と紹介

59年5月11日 (朝日新聞) 目黒区内に残る銀座の柳の紹介記事 ☆この記事により、椎葉氏、勝又氏、銀座の柳の現状を知り、建設省に嘆願。

12月 椎葉、勝又両氏、日野の老柳から剪定した枝を150本挿し木。86本根着く。銀座、御門通りに移植。(二世柳)

60年10月16日 (朝日新聞) コラム欄で、銀座の二世柳の紹介記事。

61年2月16日 (朝的新聞) 勝又、椎葉両氏に触発された建設省の国道事務所、東京23区内の国道十路線の街路樹の植え替え用に、銀座二世柳をあててことを決める。

62年3月 中央区の木を柳に制定。新年度予算で、街路樹として柳を、銀座八丁目御門通りに42本、室町一丁目に36本植えることを計画。

御門通り絵巻を完成しました。浜離宮入口から土橋迄を長さ五段×巾四五寸にまとめ上げ其表装には学校の講堂を使用して頂く騒ぎで、一巻は椎葉会長が入手、もう一巻は八丁目町会を通して築地郷土資料館に寄贈され、町会が中央区から感謝状を頂きました。

その先輩が「残念ながら、誠に悲しいことですが昨六二年十一月二六日、奥さまに見守られつつ安浄として永眠されました。行年七九才。

亡くなられる直前、金春絵巻を携えお見舞に参上、ベッドの上に並びましたらニコリ笑って握手を求められました。それが最後でした。

銀座を守る人は銀座内部の人だけではありません。先輩曰く「オレはギンザ内部だよ」

「能楽金春祭り」のお話しをさせて頂きましよう。昭和五九年（六〇年初め、七十九世金春信高宗家からの申出で、金春流を支える「金春円満井会」と「銀座金春通り会」が合同で（金春祭り）をやりたいが協力願えないだろうか、との事、円満井会の役員会に招かれコンサルタントの先生も含めて協議を進めている中、私が金春通りは巾八米一〇ありますと申し上げたトタンに宗家が机をパンと打たれ、出来た!!と叫ばれた。道路で能を演じる、と

金春祭りの様子



申される。そんな無茶な一の我々の驚きに諄々と「能の原点は、土や田から始まり、奈良金春は春日大社に奉納する無形文化財を参道で、然も八百五十年連綿と演じ続けて来た。銀座の中でも寛永四年から金春家敷は幕府拝領地として与えられ又豊大閣から授けられた金春稲荷も現存する。条件は整っている。古儀にのっとって、銀座のビルの谷間で大勢の方々に、能をもっと親しみ易い身近な芸能としてアピールしたい。出来る。」と断言。幸い中央区教育委員会は宗教に関係せず、能楽金春まつり」という事で後援が決定、築

地署も銀座にふさわしい画期的な品よい文化祭で、パレードであるし、前からの歩行者天国の実績も幸いして許可。朝日新聞社も後援、そしてお旅所前の諸施設の費用やお手伝いの方は三松建設様が御奉仕、八丁目町会も、若手の諸氏も、御門通り会や銀座十五番街も会員一同無事故を第一に願って緊張し、一致団結して事に当りましたのでお陰さまで大成功に終わりました。又第二回目からは銀座ポケットパーク（東京ガス）さんが講演会場及び資料展示場まで一週間も提供下されたのでその文化的効果は一段とはずみをつけました。

こうした皆さまの御力添えで今年も第四回目を迎えその準備を進めておりますが、其間に円満井会が念願であった社団法人に認められた事は我が事のように喜ばしく、心から祝福をしております。

◇ 銀座の柳

次に銀座の二世柳のお話おに移りましよう。昭和五九年春、新聞紙上で、銀座から引抜かれて日野に移された老柳が今日三本しか生き残っていない事を知り、何とかして助けたいし、せめて死に水をとる為にも一本でもよいから故郷銀座に戻して頂けないものか、

5月20日 昭和7年の復興記念植樹の柳は、長野県穂高産と知った穂高町長が、中央区に柳100本を贈呈することを約束。〔中央区民新聞5月25日付〕

10月5日 贈呈された穂高の柳、植樹式。銀座八丁目、銀座ナイン入口。  
 (お返しに、御門通り会会長椎葉氏から柳二世を穂高町に贈る)

柳年表作成にあたり、左記の資料を参考にしました。

「東京市道路誌」東京市土木局道路建設課編 昭和14年

「東京の植物を語る」伊藤隼著 文啓社 昭和10年

「銀座点描」池田弥三郎編 日本書籍 昭和54年

銀座の街路樹(荒垣秀雄)

「雑学東京行進曲」西沢爽著 講談社 昭和59年

「銀座わが街」銀芽会編 白馬出版 昭和50年

「銀座文化研究1・2」銀座文化史学会 昭和61〜62年

「橋が生きている街」中央区商店街連合会編 昭和57年

「中央区年表」京橋図書館編



木やなぎ  
 区の花 つつじ



銀座柳の碑（銀座八―九地先）

モヤ／＼していた気持を椎葉さんに相談したら二ツ返事です承、二人で十二月中旬建設省に嘆願に出掛けました。担当の課長さんは最初面喰ったようですがとても良いお人柄の方で「近頃珍らしい話です」と大変好意を示して下さい、十九日に現地に主任さん等と向いました。

三本の中二本はお腹が大きくはっくり割れていて無惨でありました。止むなく枝を頂き川崎に在る椎葉さんの山

荘、他へ三十センチ位に切ったものを一五〇本、祈りながら植えました。寒い中にもかかわらず丹精のお陰か八十六本が根着きました。喜しかったですね。

この事が翌年の二月末、朝日新聞に報道されたのがキツカケとなり夏から秋にかけてテレビ、雑誌と次々にマスコミの輪が拡がって行きました。名利や名聞に惑わされぬよう二人で自重し合いながら銀座文化の復活に一所懸命でした。手塩に掛けて育てて下さった椎葉さんの熱意を結実させる為にも、根着いた尊い二世柳は大事な場所に植えて上げる事だ、日野の親柳にも喜んでもらいたいから―ふとそんな事を考えて泰明小学校や銀座中学へも植えました。

柳なら何んでも良いのなら他から幾くだけでも買えばよい。伝統ある、余りにも皆さんから愛された銀座の柳の血脈の大切さを真剣に考えていくと、その又昔、江戸堀割の下町の柳まで大切に、懐かしく思えてくるから不思議です。こんなことが段々拡がって行ったのでしょうか、或いはそういう時が来たのでしょうか、とうとう中央区のシンボルの木は「柳」に決って、其の上柳植樹予算が一二七〇万も計上されたとか。誠に結構な事でありました。

昭和六十年八月、川崎で育った六十センチ程の二世柳を故郷の銀座に始めて移植しましたが、現在銀座御門通り八丁目十番ビルの角で十メートルになんなんとしております。

### その三

次にその(三)、三十間堀の碑が十年掛り昭和六一年二月、区教育委員会で銀座各地域のダンナ衆の参加の許、華やかに除幕式が行われました。「銀八」を背に染め抜いたハッピー姿で勢揃いした町会青年部（現八青会）の動きが一際目を惹き着けました。岡内さんも永井さんもご参加、又歴史学者川崎房五郎先生のご説明は、誠的をいっており、汐留駅と此の地の未来への発展で結ばれたのには敬服致しました。これが公認されるまでに、八丁目の料亭蜂竜跡地（蜂竜の古い土蔵のハリに元禄十二年信楽茶屋と書かれてあった―故鈴木先生談）より一トン半もある大石が出土、源治郎先生の令息鈴木嘉一先生のお知らせで、椎葉さんが自費で保存、又三松建設本社の工事現場から出土した三十間堀護岸の石垣も同社のご協力で保存して置いた等、度々の努力と十年越の継続申請などの住民の熱意が役所に通じて此の地に許可になったものであります。

銀座に唯一の鉄道信号機（銀座八―二―一先）



### その四

その四、銀座の中に鉄道路踏切信号機があるって一体どこに？今、再開発の話題の中心汐留駅から、昔の汐留川の鉄橋を渡って（現高速道路下）御門通りの踏切から築地市場に入る貨物線の信号機と申し上げると、ハハッと合点が行けると思いますが、危く昨年国鉄廃止で撤去される運命でありましたのを皆さんのご理解と協力で、きれいに美化直直し、そして説明板も付けて保存される事になりました。

銀座のガス燈もかつての銀座ロマンを語ってくれる生証人であるならば、この一見つまらなく見える古ぼけて危っかしい信号機も、近い将来その場所にあつてこそ、庶民の生活の歴史を語ってくれる語り部であること考えますが、如何なものでしょうか。どなたにせよ、気が付いた人が云い出し、協力し合う人達こそが其時代の歴史に爪跡を遺せる人々でありましょうか。

この信号機の百米先、浜離宮正門前の築地川本川の上を、道路が晴海に向って架かり、然も本川の巾五十米長さ七百米の半分は道路になるといふ。

「国破れて山、川無し」ですか。道路は当然川底に走らせる可きです。浜離宮の、江戸時代を背景にしたその文化価値の偉大さに気が付かれないのですか。もし、知っていて此の罪を犯すなら、後世に云い訳も出来ないでしょう。こんな事もあるうかと、数年前から地元のVIPに呼び掛け毎年四月末八重桜の観桜会を御門通り会主催で開き、離宮のP・Rに努めて来ました。関東大震災や、空襲の被害で目ぼしい建物の殆どは失われたけれど、汐入の庭園は素晴らしい。銀座の水辺即ち銀座八丁目二十番地所在の水辺は、離宮の入口、南門橋下の僅かだったの二十五米×百二十米しかないのです。これさえ埋め尽した上に頭越しに道路でするか？銀座にこだわると一地域のエゴと批判もされましょう。ならば問います史上二三年間も戦争の無かった国は日本だけ、然もそれは江戸時代、其時代を背景に生れた浜離宮、築地川本川、汐留川こそ最も大切な江戸の風景を遺している江(Water)のF(From)ではないでしょうか。

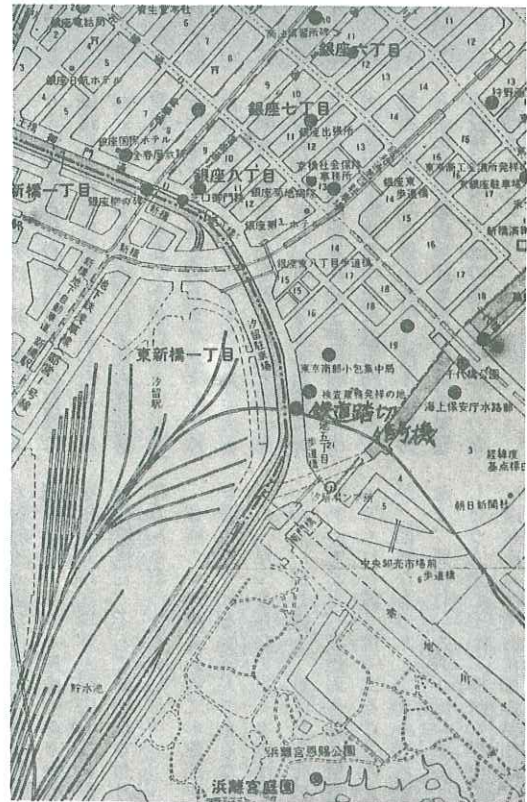
お台場公園上空から此の辺を凝視し

てみて下さい。此の水辺は近く必らず人間も含めてオアシスとなる可き最後の保護さる可き碧であります。

今、画家後藤茂樹先生と共感し合って、絵の上で昔の離宮の渡櫓や冠門、白壁の柵型門を復元している。但し南門橋や、汐留駅側の、削り取られ、やせ細ったドブ川化した堀や、頭越しの羽田線高速道路は在りのままに……素晴しい離宮の柵型門を御覧になったら改めて築地川本川をこれ以上痛め付ける事に多少の反省は生まれる事でしょう。

汐留駅中心の再開発の研究も「東京都臨海地域開発研究会」で十年近くやって来ました。それは名利、名聞を追わぬ純粋なボランティア活動で、地味ですが世間のパイロット役を果たして来たと自負しています。地価の暴騰で無茶苦茶に騒がれた汐留駅の売却の話もお陰で此の所トーンダウンして私達はほっとしている。もっと冷静に研究論議をし尽し報道をし、グローバルな観点から実行して欲しい。

今年の年賀状に、終り良ければすべよしの一文を入れました。私の生命も、二十世紀も残り少ない。文が化政



中央区発行「わたしの便利帳・附図」より

治をリードして行ける時代になることを、今世紀末までの大きな課題として一日、一日を大切に暮して行きたいものです。

私が以上の様に地域の文化活動を始めたのは実際に住んでからです。職住一致は地域への関心度をかなり高める管です。銀座は繁華街故、居住には適さないと決め付けたら、大きな誤りです。私の五階のミニ庭園の隣に野鳥も蜻蛉、蟬も来ます。今年は甘い葡萄が二十幾房も実りましたし、アイビーが五、四、三階まで履っております。是非お出かけ下さい。

(昭和六三年二月十三日に行われまして、東京を語る会第53回講演を基に書いていただきました。)

◇椎葉一二氏御紹介(銀座御門通り会会長・銀座八丁目町会副会長)

「銀座の親切おじさん」として親しまれ、銀座の為となれば労をいとわぬその行動力には定評がある。銀座の柳の二世を育てるために尽力される。

◇勝又康雄氏御紹介(銀座金春通り会会長)

銀座・築地・汐留地区を守るため、数々の文化活動をされる。水の威力を関東大震災、東京大空襲の体験で知り現在は築地川を守るためご活躍中である。